

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) JFEフェライト株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒111-0051 東京都台東区蔵前2-17-4 JFE蔵前ビル4階	
本票作成	部署名：製造部				
主たる業種	分類コード	28	業種名：電子部品・デバイス・電子回路製造業		
事業の概要	ソフトフェライトの製造、販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	倉敷工場		岡山県倉敷市水島川崎通1丁目	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和4年度 ~ 令和6年度 (3箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.1 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							○
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和3年度)			目標年度 (令和6年度)					
	4,031 t CO ₂			4,233 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和3年度) の排出量					
	①	倉敷工場		4,031 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 製品の生産量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		6.844 t CO ₂ / (t)	6.635 t CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和3年度)	達成率 (%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

設備改造、操業改善等によりエネルギー効率の向上を図り、省エネ法に基づく年1%以上の温室効果ガス排出削減を目指す(原単位基準)。

【目標削減率達成のための推進体制】

省エネ法に基づくエネルギー管理統括者のもと、エネルギー管理企画推進者を中心に、定期的な実績フォローを行うと共に、各人の省エネ意識を維持する為の情報発信等を適宜行う。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
倉敷工場	<ul style="list-style-type: none"> ・2号焼成炉の本体炉の改修(断熱性改善)による、熱ロスの低減(令和3年度)。 ・2号焼成炉の電気ケーブルの劣化更新による、送電ロスの低減(令和3年度)。 ・一部の照明のLED化(~令和3年度)。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
倉敷工場	<ul style="list-style-type: none"> ・1号焼成炉のエネルギー原単位改善、もしくは、他の炉への生産移管による稼働炉の集約化を行い、原単位を改善(令和4年度)。 ・エネルギー負荷が高いバッチ式の炉から、連続炉への一部生産移管(令和4年度)。 ・配管模様替えによる集塵機の稼働台数削減(常時2台運転→常時1台運転)(令和5年度)。 ・焼成炉の温度管理強化、LPG使用炉の燃焼管理強化等による省エネ推進(~令和6年度)。 ・照明のLED化(~令和6年度)。 ・集塵機等のインバーター化(令和6年度)。

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

令和3年度の二酸化炭素排出量は4,031トンで、製品の生産量589トンで割ると、原単位は、6.844tCO₂/tであった(2号焼成炉の停止期間があった為、その間は生産量減かつエネルギー使用量減)。

令和4年度~6年度の間、設備改造、操業改善等によりエネルギー効率の向上を図り、令和6年度には、二酸化炭素排出量は4,233トンで、生産量を638トンまで増産し、原単位6.635tCO₂/tを目指す(3年間で3.1%削減)。